

「長浜子どものちかい」及び「長浜子育て憲章」について

＜長浜の未来を拓く教育検討委員会から＞

「今の子育てと生きる力の根幹 ～子育ての視点から～」

家庭(保護者)

- 保護者の情報ネットワークが充実しており、早い連絡・連携が可能
- 核家族や共働き世帯の増加。
- 地域の教育力低下により、子育てのほとんどを家庭が担う状況。
- 自己中心的な親。「子どもが大事」という思いが強い)
- 親の理想を押し付ける早期教育。

子どもたちを取り巻く環境



地域

- 長浜市は自然環境、歴史・伝統、文化等に恵まれている。
- 遊ぶ友だち・場所・時間が子どもたち周辺から減少。(外遊びする子どもの減少、危険な箇所増加、習い事等の時間等)
- 利便性を求める社会の弊害が出始めている(コンビニエンスストア、携帯電話等)
- 身近な人から子育てを学ぶ機会の減少。
- 人間関係の希薄化。

子どもたちの実態(問題)

- 自己中心的な考え方を持ったり、気持ちの制御ができなかったりする。
- 人との関わりを嫌がり、煩わしいと考えている。(一人が楽、友だちとの会話が面倒)
- 自分の好き嫌いで行為・行動を決める。(好きなことだけを選び、嫌いなことはしない)
- 異なった年齢の友だちと遊ば(べ)なくなった。
- 群れをつくっての遊び(かくれんぼ等)が減少している。
- 知識・技術の習得には熱心だが、心の育ちが十分でない。
- 問題を最後まで考えることができない傾向がある。
- 情報端末器(スマートフォン、パソコン)、インターネットなどに依存する傾向がある。

「今の子育てと生きる力の根幹 ～子育ての視点から～」

家庭(保護者)

- しつけ(あいさつ、お礼)や思いやりを育てたいと願う親が多い。
- 保護者同士が情報ネットを通じてつながっている。
- 深まる母親の孤立感。
- イライラして子育てを楽しむ余裕がない。(子育て時間増、自由時間の減少、ストレス、経済的な不安等)
- 多くの情報はあがるが、自分の子育てに必要な生の情報や処方箋的な情報(よりどころ)が見つからない。
- 就労していない母親は、子育てに追われ、自己実現の機会や相談できる環境が少ない。
- 父親は仕事で忙しいため、母親は父親に相談がづらい。
- 親の趣味等に合わせて夜遅くまで遊ばせているケースがある。
- 規律性、道徳観の希薄化。

家庭を取り巻く環境



地域

- 地域・学校が積極的にコミュニティスクール(学校運営協議会)に参加している。
- 都市部(京阪神)から市内に転入し、マンションや新興住宅地に居住する若い保護者同士の交流が少ない。
- 子育てについて何かをしたいと思っているが、自ら行動を起こすことを不安に思う住民が多い。

子育ての実態(問題)

- コミュニティで育てる力が弱体化している。
- 子育ての大半が母親に押し付けられている。
- 子育てに不安感や負担感を抱えている母親が多い。
- 親になり切れていない若い保護者は自分の親が頼り。(地域の大人や教育機関には相談しない)。
- 学力や成績など知識偏重になったり、従順さのみを求めたりする傾向がある。
- 家庭の生活リズムが崩れ、子どもの生活習慣にも影響している。
- 校・園、関係機関が設ける相談の機会を活用しきれていない。
- 挨拶など、家庭のしつけ等の問題が学校の責任や学校任せになっている。

子育て・子育てに大切なこと、必要なこととして

子育てに大切なこと、必要なこととして

(子ども自身に)

- 人と協力してよりよい社会にしていけるために、自立と協働の精神を育むこと。
- 人間関係のトラブルを自ら解決する力をつけること。相手の心の痛みを気づく心をもつこと。
- 粘り強く目的に向かうこと、最後まで本気でやること。
- 私たちを取り巻く自然や文化など、崇高なものを大切に育む心や畏敬の念を育むこと。
- 自分の考えや思いをしっかりと話し、相手の考えや思いを受け入れること。

(周囲が支える)

- 豊かな心を育てる自然体験をさせること。
- 祖父母やお年寄りとの交流。世代間の交流を図ること。
- 国語教育・言葉の教育を大切にすること。
- 大人から積極的な挨拶を心がけ、やらせるのではなく行動で示すこと。
- 挨拶のできる土壌づくりとともに挨拶を継続すること。
- 市民ぐるみ(親、祖父母、周囲のおとな等)で子どもを支える意識をもつこと。

(取組として)

- 子どもたち個々に目を向け、実態に基づく手だてを考えること。
- 親自身の行動を振り返ること。(子どもは、大人から見聞きしたことに基づいて行動をする。)

子育てに大切なこと、必要なこととして

(親・大人が子どもたちに)

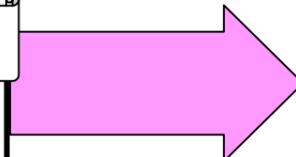
- 道徳を大切に、どのような生き方をするかという明確な価値意識をもって子育てをすること。(道徳教育の充実)
- 子育てにおいて、ときには厳しい指導をすること。
- 親への尊敬や信頼をしっかりと子育ての中で位置付けること。
- 社会人として恥ずかしくないよう、公共性を身に付けることと、生活していくための力を身に付けること。

(周囲が支える)

- 家庭、地域、学校が連携して教育を進めること。
- 子育てのがんばりを認め、子育ての大変さを理解し、悩みやストレス発散の場を作ること。
- 親の心の安定が子どもの心の安定につながる。
- 気軽に互いの悩みを出し合う場を作る、親の本音を引き出し親同士のつながりを作ること。

(取組として)

- 親子読書や二世帯・三世帯読書の取組を積極的にすること。
- 「家庭教育手帳」、道徳教育「私たちの道徳」を家庭・地域連携のために活用していくこと。
- 長浜独自の親子共同による活動事業などの取組を増やすこと。
- 子育てでよい結果に至った事例をさがし、活用すること。
- 一見、無駄と思うことの中から、子育てや教育にとって大切なものが何かを見つけること。
- コミュニティスクール等を生かし、地域連携を後押しする取組を推進すること。



★市民ぐるみの子育て・教育環境づくりの実現のために

★子育ての「よりどころ」となるもの、「基盤となるもの」の必要性

★長浜の子どもの未来のために

各課の取組、施策、事業への反映

*子どもは、私たちの宝。生命を受け継ぎ、未来を切り拓く存在です。
*市民総ぐるみで、子どもの健やかな成長を願い、たくましく生きる子どもたちを育てましょう。

めざす子ども像

- 一、夢や目標をもち、それに向かって努力する子
- 一、思いやりのある心のやさしい子
- 一、ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子

わたしたちはちかいます

長浜子どものちかい

- 一、元気にあいさつをします
- 一、名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 一、「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 一、困っている人がいたら言葉をかけます
- 一、人の話をしっかり聞きます

おとなが実践します

長浜子育て憲章

- 一、子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 一、見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- 一、ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 一、自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 一、長浜に誇りを持ち、地域に貢献する子どもを育てます